



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2026年 4月15日

企業・団体名 株式会社スマートレジリエンス

代表者名 代表取締役 竹田 正和

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 エネルギー消費の節減に関わるエコドライブと資源の再利用に努める。</p> <p>【実施状況】 1. 環境負荷低減への取組み(エコドライブ・燃費管理) 燃費効率の向上: 継続的なエコドライブの実践により、年間の燃費実績は前年度対比で0.3%の改善を達成。 運行管理システムの高度化: 2025年4月1日より、クラウド型業務支援システム「AppLogi DX Platform」を本稼働。 配車指示、運転日報、日常点検、および燃費管理をデジタル化し、データに基づいた運行管理体制を構築済み。 2. 外部認証の取得・維持(コンプライアンスおよび環境経営) グリーン経営認証: 2025年10月20日に維持申請を行い、登録認証を更新済み。 ISO 14001:2015: 2026年3月3日にSDGsに対応した維持申請を行い、認証を継続。 DX認定制度: 2025年5月1日付で「DX認定事業者」としての認定を取得済み。 3. 資源の有効活用と業務のデジタル化(DX推進) 廃棄物管理の電子化: 2024年4月1日より manifests 管理システム(DXE Station)を導入。 紙 manifests から電子 manifests への移行を強力に推進し、現在では全 manifests の85.0%以上を電子化完了済み。 ペーパーレス化の進展: 各種クラウド型業務システムの連携活用により、紙媒体による従来の業務フローを95.0%以上削減し、資源保護と業務効率化を同時に実現した。</p>
2	<p>【目標】 「健康と安全」の認定継続とデジタル化を応用した作業負担軽減及び生産性向上から社員が長く働きやすい環境づくりに努める。</p> <p>【実施状況】 2026年03月08日に『健康経営優良法人2026』の更新認定済み。 2025年05月01日に「DX認定事業者」として認定取得済み。 2026年05月29日迄に「とやま健康企業宣言」の金(Step2)更新申請(3.5ヶ月前倒し) ☆「DX認定事業者」として、マンパワーに依存せず『簡単・持続可能』かつ『ヒューマンエラー、時間、労力、費用』を最小化するデジタル化の仕組みづくりを進めており、具体的な取組みは以下の通り。 ① クラウド勤怠管理システムの「勤怠・金額」データを給与ソフトへインポートするための自動フォームをAIでコンバートアプリを作成し、業務の自動化を確立。 ② 「配車・計量・manifests」の出力データから、販売管理システムへデータを受け入れるための一元管理型kintoneアプリを開発。(具体的には、配車管理や manifests 管理などのクラウドサービスからの出力データと、大型の産業用計量機器(トラックスケール)からの出力データをkintoneで一元管理している) ③ 『LINE WORKS(企業向けビジネスチャット)』と『AppLogi DX Platform』を活用し、社内の情報共有の仕組みを確立。 ④ 月次安全・衛生会議において、動画研修と理解度確認シートを活用し、『ディ・クリエイト(eラーニング)』による「指導監督の指針」12項目の教育を継続中。 ⑤ 衛生会議において、アクサ生命保険株式会社の「健康経営優良法人サポート支援」による動画配信を活用した研修を継続中。</p>
3	<p>【目標】 「下水道管路」等、強靱なインフラ整備と住み続けられるまちづくりを持続可能にする役割をする為、資格の向上に努める。法規制を順守した大気の水質と廃棄物の管理に努める。</p> <p>【実施状況】 ・専門資格の拡充と技術向上 2025年10月31日付で「下水道管路管理専門技師」の等級保有者が1名昇格。2024年度と比較し、有資格者が計1名増加。 2026年度の下水道関連資格試験において、新たに2名が受験申込済み。 ・環境マネジメントの継続的運用 ISO14001:2015: 2026年2月10日に更新審査の受審を予約済み。 グリーン経営認証: 2026年8月に更新申請を予定。</p>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。